



金庫理念を踏まえ、平成30年4月に10年後を見据えた千葉信用金庫のあるべき姿として「千葉信用金庫ビジョン」を掲げ、到達すべき将来像として目指しております。

千葉信用金庫ビジョン

- (1) 地域社会やお客様との絆により選ばれる信用金庫
- (2) 総合力を発揮し、お客様の期待に応える営業体制
- (3) やる気と活力に溢れた、魅力ある金庫職員
- (4) 安定した収益力と、リスク耐性の高い経営基盤
- (5) チャレンジや変革を恐れない、ポジティブな組織

第8次中期経営計画

千葉信用金庫は、「千葉信用金庫ビジョン」を実現するために、第8次中期経営計画を策定し、役職員一丸となって取り組んでおります。

○計画名称

「未来は今、この瞬間から」

○計画期間

4年間（令和6年4月1日～令和10年3月31日）

1. 基本方針

第8次中期経営計画では、安定した顧客基盤を築くべく課題解決活動の深化を主体に取り組み、「営業力の強化」、「組織力の強化」をさらに深化させてまいります。また、外部環境の変化にも耐えうるリスク管理にも目を向け、堅固な財務体質の構築を図り、安定的収益力と持続可能な経営基盤の強化に繋げ、「千葉信用金庫ビジョン」の達成を目指してまいります。

第8次中期経営計画 基本方針

【3つの柱】

- I. 顧客基盤の拡充
- II. 人財力の強化
- III. リスク管理態勢の強化



I. 顧客基盤の拡充

お客様の期待を超える課題解決活動を実践し、顧客サービスの充実を図ってまいります。併せて、業務の効率化や地域特性を考慮した店舗運営を行い、営業力を強化し、顧客基盤の拡充を目指します。

- ①課題解決型営業の深化
- ②既存顧客の取引種類の拡大および純新規顧客の獲得
- ③業務効率化や店舗運営形態の見直しによる持続可能な組織体制の構築

II. 人財力の強化

多様化するお客様のニーズ、課題を正確に把握し、お客様を第一に考えた解決策をお客様が気付く前に提案できるレベルの人財の育成を図るとともに、職員の誰もが能力を最大限活かせる働きやすい職場環境の構築を目指します。

- ①性差なき人財の活躍
- ②成長へのモチベーションを喚起できる教育訓練の実施
- ③働きやすい職場づくり
- ④積極的なチャレンジを促進する仕組みの構築

III. リスク管理態勢の強化

内外環境を考慮のうえ、方針、内部規定、組織体制、リスク低減等を検討し、リスク管理態勢の高度化を図ることにより、想定困難な事象にも耐えうる堅牢な経営基盤の構築を目指します。

各種リスクへの対応

- ①信用リスク
- ②市場リスク
- ③流動性リスク
- ④レピュテーションリスク
- ⑤オペレーションリスク

2. 意識的に取り組む事項

「千葉信用金庫ビジョン」の策定時には顕在化していなかった様々な変化や課題に対して適切に対応していくため、以下の項目について意識的に取り組んでまいります。

- ▶SDGs・ESG
- ▶GX 等

3. 内部管理態勢全般の強化

「千葉信用金庫ビジョン」では、当金庫が存続していくうえで欠かすことができない経営の土台となるべく普遍的な要素として、内部管理態勢全般の強化を掲げております。

第8次中期経営計画においても、盤石な内部管理態勢を構築するため、重要課題として取り組んでまいります。

